▲この日は良型がそろった

●朝イチの流しで20センチオーバー

相模湾真鶴港出船
真鶴沖のカワハギは良型ぞろいで引き味満点

撮影◉平林 潔

▲港前は大型の実績が高いポイントの一つ

●肝が肥えた冬のカワハギは食味も満点

●早朝は根が荒い三ツ石寄りの水深35メートル前後を攻めた

▶船長に了承を得ればルアーでロックフィッシュを狙うこともできる

▲筆者もカワハギの引きを満喫

風光明媚な真鶴半島周りに広がる岩礁帯の釣り場では、アカハタやオオモンハタなどのハタ類やカサゴやメバルなどの根魚を始め、アオリイカやカワハギなど様ざまな釣り物を楽しめるが、この時期のおすすめはカワハギだ。真鶴港のさい丸での取材日は、港前や三ツ石周辺の水深28～34メートルを狙い、20～23センチ級と良型主体にトップ12枚と釣果はまずまず。

同船は午前・午後の半日乗合のほか平日は5名から、土日祝日でも6名から仕立てられるので少人数のグループにもおすすめ。気の合う仲間と仕立船でカワハギの引きを楽しんでみてはいかがだろう。

（詳細は52ページ参照）

●乗船場は堤防の先端、車は船長に場所を確認して港の近くに停める

◉相模湾真鶴港・さい丸
御守 紀幸船長